

御所市公共施設等総合管理計画（概要版）

はじめに

近年、公共施設等の老朽化対策が全国的に大きな課題となっています。本市においても、老朽化が進んでいる施設が多く、今後一斉に更新時期を迎えますが、すべての公共施設等の更新に対応していくことは、大きな財政負担を伴うため、困難が予想されます。

一方で、人口減少や少子高齢化の進展、市民ニーズの多様化など、公共施設等を取り巻く環境は、大きく変化しており、新たな施設のあり方の検討も必要となっています。

本計画は、これらの課題に対応していくため、公共施設マネジメントを進めるための基本的な考え方や推進にあたっての体制などを示したものです。

対象施設： 市が保有する公的資産のうち、公共施設（ハコモノ）とインフラ施設を対象

対象期間： 平成29年度（2017年度）～平成68年度（2056年度）までの40年間

※取組の進捗状況等も考慮し、必要に応じて10年を目途に本計画の見直し

現状や課題に関する基本認識

多くの施設を保有しているものの、休止施設が多い

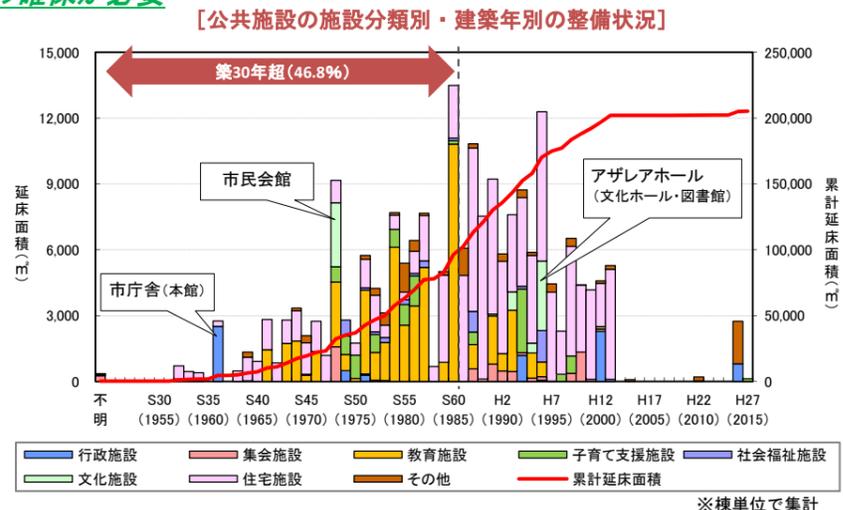
- 公共施設は、152施設、延床面積約20.5万㎡（市民一人当たり7.50㎡）を保有しています。
- 県内自治体（町村除く）の平均（4.07㎡）より多い状況にあります。
- 耐震性の問題や利用状況の低下などを理由に休止している施設もみられます。

【公共施設】				【インフラ施設】			
大分類	施設数(ヶ所)	延床面積(㎡)	構成比(%)	分類/種別	施設数	面積・延長	
行政施設	6	7,623	3.7	道路	1,127本	427,108m	
集会施設	29	6,788	3.3	橋梁	313橋	10,832m	
教育施設	12	55,168	26.9	公園等	都市公園 20ヶ所	157,795㎡	
子育て支援施設	20	11,587	5.6	運動場	4ヶ所	32,722㎡	
社会福祉施設	13	4,566	2.2	下水道	管路	71,627m	
文化施設	6	7,446	3.6	建築物等	1ヶ所	407㎡	
住宅施設	26	102,582	50.0	水道	上水道 管路	276,835m	
その他施設	40	9,444	4.6	建築物等	25ヶ所	4,977㎡	
計	152	205,204	100.0	簡易水道	管路	2,298m	
				建築物等	3ヶ所	39㎡	

(平成28年3月末時点)

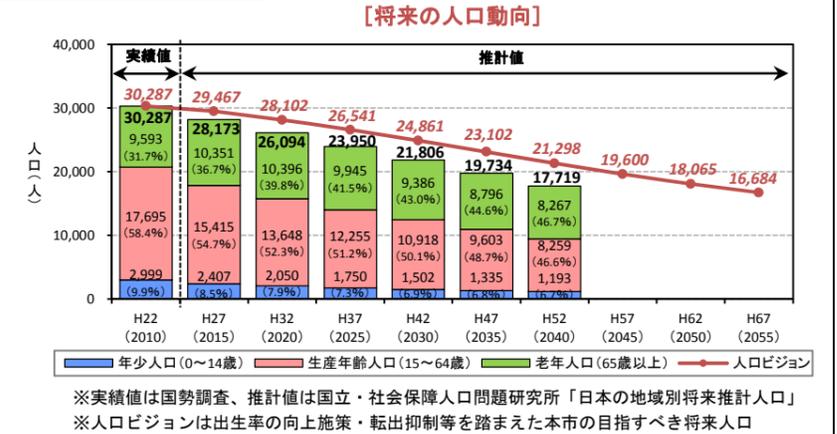
老朽化が進行しており、安全性の確保が必要

- 公共施設全体の46.8%が築30年を超え、老朽化が進行し、今後一斉に大規模改修や建替えが必要な時期を迎えます。また、インフラ施設も同様の状況にあります。
- 耐震性のない施設もみられ、安全性が確保できていない施設もあります。



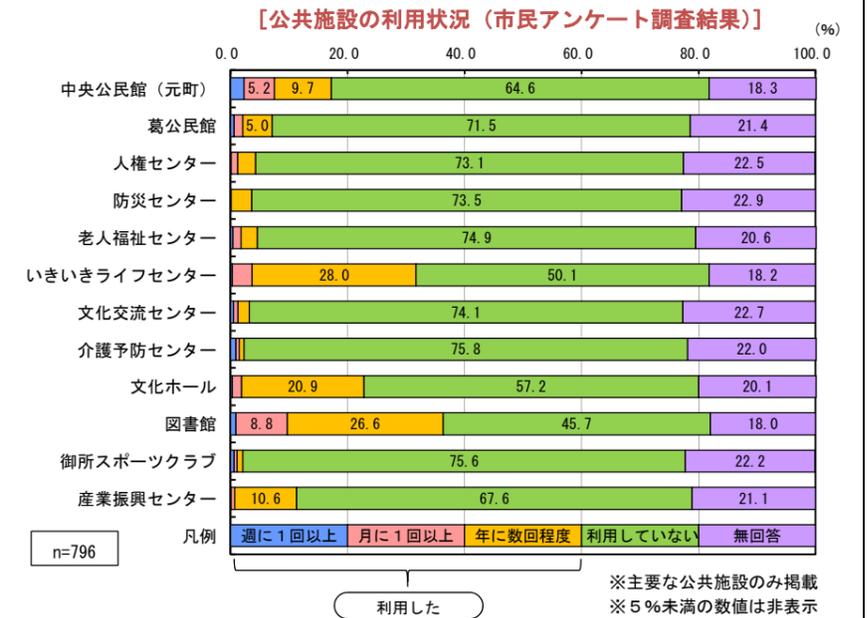
人口減少・少子高齢化による市民ニーズの変化への対応

- 今後も人口減少が予測されており、人口規模に比べて施設の保有量が過剰な状況になることが考えられます。
- 少子高齢化が進み、年齢構成等が変化することで、市民に必要なサービスの質と量も変化していきます。



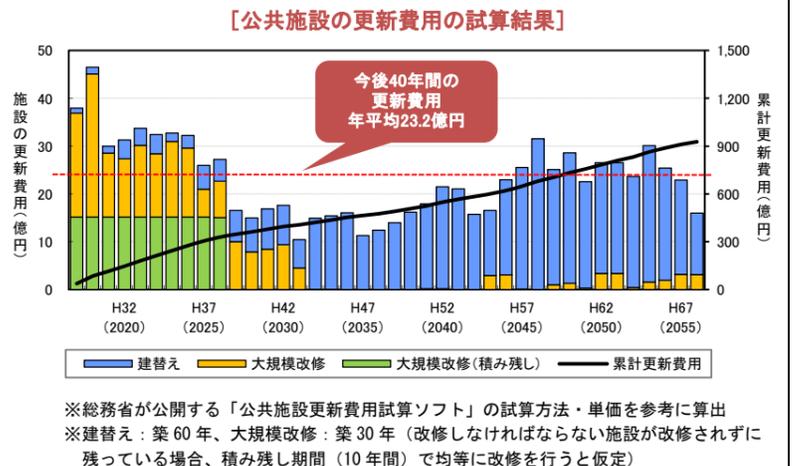
公共施設を利用する機会が少なく、利用状況は低い

- 市民アンケート調査で、公共施設の利用頻度は、ほとんどの施設で「利用していない」が7割以上となっています。
- 利用していない理由としては、施設利用する機会がないことや施設を知らないといった回答が多くなっています。



厳しい財政状況の中、更新費用への対応や管理運営の見直しが必要

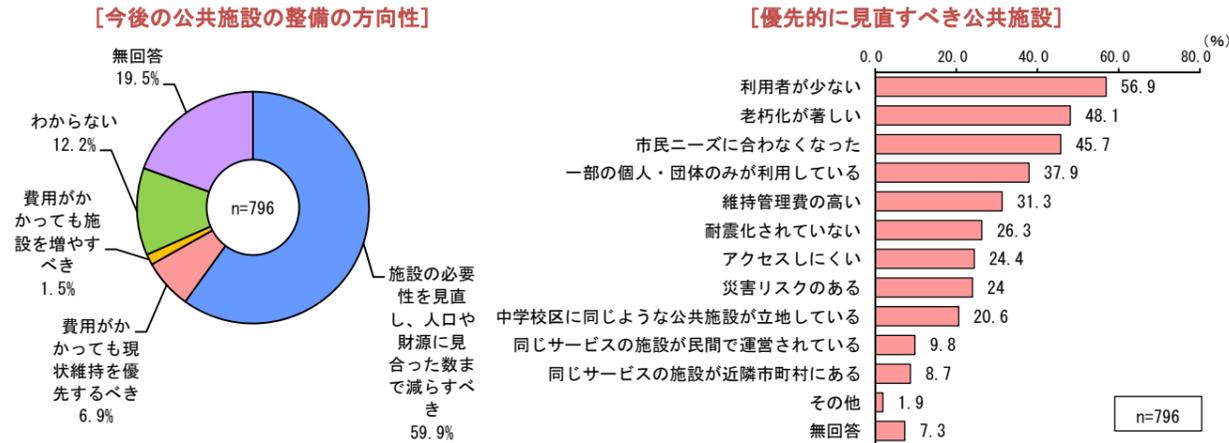
- 今後40年間の更新費用は、すべての施設を維持すると、公共施設で927.1億円（年平均23.2億円）必要となります。また、インフラ施設の更新にも多大な費用がかかります。
- 生産年齢人口の減少により大幅な歳入増は見込めず、高齢化の進展などにより社会保障に関連する費用が増加することを踏まえると、施設の更新に回す財源が不足し、すべての施設を維持するのは困難な状況にあります。
- 市民サービスを維持しつつ、コストの縮減が図れるよう管理運営を見直す必要があります。



市民の意向（市民アンケート調査結果）

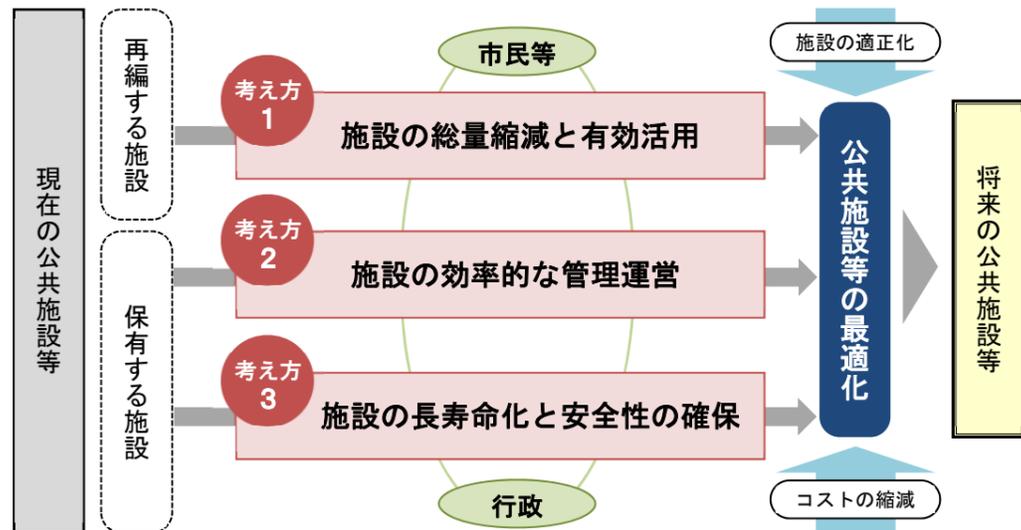
市民意向の把握のため、無作為で抽出した18歳以上の市民2,000人に対し、郵送によるアンケート調査を実施（有効回収率40.0%）

- 今後の公共施設の整備の方向性について、全体の約6割が「施設の必要性を見直し、人口や財源に見合った数まで減らすべき」と回答しています。
- 優先的に見直すべき公共施設については、「利用が少ない」が最も多く、次いで「老朽化が著しい」となっており、施設の利用状況や安全性が重視されています。



公共施設マネジメントの基本的な考え方

- 公共施設等の課題に対応し、市民サービスの維持・向上と安定した財政運営を両立させるため、長期的な視点を持って公共施設マネジメントを進め、公共施設等の最適化を図ります。
- 戦略的に公共施設マネジメントを進めるため、3つの考え方を基本として、市民・民間事業者と行政が連携した取組とし、貴重な財産である公共施設等を次の世代に継承していきます。



数値目標：今後の人口動向や財政の観点を踏まえ、公共施設は、長寿命化を図った上で、40年間で保有量（延床面積）を4割縮減（インフラ施設は、数値目標は設定しない）

公共施設マネジメントの基本的な方針

考え方1 施設の総量縮減と有効活用

施設の再編

- ✓ 公共施設の再編による総量の縮減とサービス提供主体の見直し
- ✓ 既存施設の多機能化や用途変更、有効活用が難しい施設の廃止・除却
- ✓ 施設情報等を活用した評価の継続的な実施

更新時の多機能化と計画的な新設

- ✓ 公共施設の新設・更新時の多機能化の検討
- ✓ 財政状況や費用対効果を踏まえたインフラ施設の計画的な新設・更新

施設等の売却・貸付

- ✓ 公共施設の再編により廃止となる施設や施設跡地等の売却・貸付

考え方2 施設の効率的な管理運営

管理運営状況の改善

- ✓ 施設情報の分析・評価による経費の縮減や利用者数の増加のための運営改善の検討

管理運営手法の見直し

- ✓ 民間事業者の技術やノウハウ等を活用した最適な管理運営手法の検討

考え方3 施設の長寿命化と安全性の確保

計画的な保全の実施

- ✓ 保有する公共施設等の計画的な保全による施設の長寿命化

メンテナンスサイクルの構築

- ✓ 日常点検の実施と定期点検の徹底
- ✓ 点検・診断結果や修繕履歴等のデータ蓄積・共有と活用

安全対策の実施

- ✓ 点検・診断結果等より危険と判定された施設の供用廃止・除却の検討



公共施設マネジメントの推進について

推進体制等の構築

- ✓ 庁内推進体制の強化
- ✓ 市民・民間事業者との施設情報や問題意識の共有と連携体制の構築
- ✓ 県や近隣自治体との広域的な連携体制の強化

フォローアップ

- ✓ PDCAサイクルによる取組の進捗評価・検証や計画の見直し

御所市公共施設等総合管理計画（概要版）

●発行日：平成29年（2017年）3月

●発行：奈良県 御所市

●企画・編集：企画部 管財課